

院内通信「リソースナースインフォメーション」

Resource Nurse Information

看護部リソースナース
委員会作成
不定期発行

Topics

- ・リソースナース全員集合!!
- ・COVID-19と闘う看護師

01
2020



2020年春、リソースナース委員会メンバーが全員集合しました!!

リソースナース委員会とは、2016年に看護部において、専門看護師・認定看護師などの各領域の専門性の高い看護の知識・技術をもつ看護師が、リソース(資源)となるよう、患者・家族のQOL向上のために質の高い看護実践ができるように教育的に支援することを目的に組織された委員会です。発足当時は4名であったリソースナースも、現在は6名に増え、産休・育児休暇中だったリソースナースも復帰して、この春6名全員が久しぶりに集合しました。

これまで委員会で活動に関して実施してきたアンケートや、スタッフの皆さまから頂いた貴重なご意見で改善に至らなかった部分もありますが、各リソースナースの専門性を発揮して皆さまと協働できるように活動を充実させていきたいと思っています。その一環として、「Resource Nurse Information」という院内通信を発行し、皆さまにリソースナースの活動を知って頂き、より身近な存在として気軽に相談をしてもらえると嬉しいなと思っています。

通信の発行は不定期となりますが、できるだけ多くの発行を目指していますので、知りたい情報などがあれば是非取り上げたいと思いますので、お声掛けください!!

今回は、COVID-19と闘うために奮闘する 感染管理認定看護師：安井看護師の活動を紹介します！

現在、世界中で新型コロナウイルス(以下;COVID-19)が流行しパンデミックを起こしています。当院でも関連職種・部署の協力のもと、日々対策について協議を重ねているところです。職員の皆さまにおきましては、本当にお疲れさまです。

当院は、札幌市の中心部に位置しており、肺炎疑い患者がいつ診察に来るか分からず、また日々の診療の中で患者や職員の誰が発症するか分からないという状況があります。そのため、COVID-19の正確な情報と適切な対処法を知ることで、職員全員が正しい感染対策を実施できると考え、活動の一環として2月25日に全職員へ『北海道医療大学教授 塚本容子先生』を講師に招き、院内感染対策研修を実施しました。

また、感染管理認定看護師として日本医師会から派遣依頼があり、5月4日から4日間JMATに参加して軽症者が入所をしているホテルで活動をしてきました。入所者の中には、長期に渡りホテル生活をしている方もおり、いつ帰れるか分からないという不安を抱いている方も多く、メンタルヘルスクアの重要性に再度気づかされる場面もありました。

北海道では新たな発症者が日々でております。皆さんの感染対策の疑問や不安に対応しながら、引き続き全職員一丸となって感染対策を徹底していきたいと思っています。



JMATとは: Japan Medical Association Team(日本医師会災害医療チーム)

日本医師会により組織される災害医療チーム。急性期の災害医療を担当するDMATが3日程度で撤退するのと入れ替わるようにして被災地の支援に入り、現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支えるための組織。

実は

私はこうやって認定看護師になりました



安井 美保 感染管理看護認定看護師(2016年認定)

内線番号:3063 活動日:月~金

どこで勉強したの？

北海道医療大学認定看護師研修センター感染管理分野です

どうしてなりたかったの？

以前勤めていた病院でアウトブレイクを経験し、感染管理認定看護師の姿を見て感染対策に興味を持ったため

なってみてどう？

実際にサーベイランスがタイムリーに実施できるので楽しく思っています

勉強中の仕事はどうしてた？

研修扱い通学していました

勉強中のお金はどうしてた？

入学金85万円は自費、教材や医療大までの交通費等、給与だけでは厳しく、貯金を切り崩した生活でした

何から始めればよい？

関連する学会への参加や、興味のある本を読むこと

分野でおススメの本は？

「NEW感染管理ナースングー ベストプラクティス」

「基礎から学ぶ医療関連感染対策—標準予防策からサーベイランスまで」

関連する学会は？

- ・日本環境感染学会
- ・ICNJ

こんな依頼、お待ちしております

看護だけでなく、他職種からの感染症の対応・対策、各消毒、清掃方法などいつでもご相談下さい。

リソースナース委員会では、各リソースナースへの相談依頼や進学相談など随時受け付けています。お気軽にご相談ください☆

2020-06-19発行